

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの活動報告>

第44号
2004年10月15日
- 月刊 -



古川なおきレポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

ネーミングライツ（施設命名権）は 日産スタジアムに決定!

皆様お元気ですか？
私が平成14年に決算特別委員会で提案した横浜国際総合競技場のネーミングライツ（施設命名権）が年間4億7千万円（5年契約で23億5千万円）という好条件で日産自動車㈱に決まりました。少し大げさな言い方もしれませんが、たった一人の市議員でも、議会で提案し市の財政に貢献する大きな政策を実現できたことを世の中に示すことができたと思っています。

この政策は、私の支持者で、大企業の海外駐在を経験されたコンサルタントの方からのアドバイスがきっかけでした。当時（平成12年）はネーミングライツという言葉も聞いたことがなく、アメリカ力をはじめとする海外の事例に驚きました（2面参照）。もちろんまだ日本では、ネーミングライツを実現している自治体は一つも無かったので、年間約6億円にもぼる国際競技場の運営管理費の赤字分を削減できることは、とても画期的で、興奮しながらお話を聞かせていただいたことを今でも覚えていています。

私もはじめは公共施設に民間企業の名前を付けることに多少の抵抗感はありましたが、市の財政状況等を改善するためには、今までの行政の発想ではなく民間の経営感覚を持つて決断すべきだ！と考えていました。ただ、私も新しい

い政策を提案する時は市民の皆様のご意見が気になるので、旭区を中心に「市政目安箱」でアンケート調査を実施しました。結果はお返事をいただいた方の80%がネーミングライツを支持されたので、議会でも自信を持って提案しました（古川なおきのホームページでレポート23号をご参照ください）。しかし、当初市は国際競技場に単に愛称を付ける事だけを検討していましたので、市の財政にメリットがあることを強く説いて要望を続け、最終的に中田市長の決断でネーミングライツが実施されることになったのです。

その後平成15年5月からパートナー企業を募集しましたが、年間2〜3億円ならば契約するという企業はあっても「年間約5億円で5年間」という条件ではなかなか手を上げる企業はなく、私も心配していました。そして、今回の発表です。

以上がネーミングライツの提案からの経緯ですが、あらためて政策決断された中田市長、日産自動車㈱と粘り強く交渉された当局の方々のご努力に敬意を表します。今までの行政の発想ではなく、行政が収益を確保しよう！と努力したことは大変すばらしいと思います。

さらに、これも再三議会で提案しましたが、横浜市はホームページや「広報よこはま

古川なおきプロフィール
昭和43年8月31日横浜市生まれ 35才
県立希望ヶ丘高校卒業
明治大学政経学部卒業
横浜銀行勤務後、議員秘書となる
平成7年横浜市議員初当選(26才)
自民党横浜市支部連合会副幹事長
平成16年度市民建築常任委員会副委員長
平成16年度情報社会推進
危機管理対策特別委員会
希望ヶ丘高校同窓会校務会評議員
旭区スポーツ協会の顧問
旭区サッカー協会顧問
横浜青年会議所(J.C)
日本動物福祉協会横浜支部支部長
鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
卓球本間クラブ所属

古川なおき10~11月主な予定
10月
7~22日 決算第一特別委員会
14日 都市計画局質問
16日 旭区防犯タウンミーティング
18日 教育委員会質問
19日 議会あり方調査会
22日 決算特別委員会採決
24日 旭区民スポーツ大会
25~26日 アーバンユースネット総会
31日 旭区民ふれあいまつり
11月
1日 議会あり方調査会
7日 スペシャルオリンピックス
10~12日 市民建築委員会

等の広報物には民間の広告が入るようになりました。引き続き「お役所仕事」ではなく、コスト意識や民間の経営感覚を3万人の職員と共有し横浜市を発展させていきたいと思っています。

ところで、現在全国の大型公共スポーツ施設は運営経費に苦しんでいます。ワールドカップスタジアムでのネーミングライツは横浜が初めてなので、横浜の成功事例が全国の自治体に波及していくことを願っています。

今後、先進的な政策を提案し、市民サービスの向上と行政業務の効率化に努めていきますので、皆様のアドバイスをよろしく願います！食欲の秋です。食べすぎにはくれぐれもご注意ください！

横浜市議員 **古川直季**